

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	言語文化	2	必修科目	1年	
使用教科書	高等学校 言語文化(数研出版)			担当者	

教科 の 目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学 習 方 法	教科書に収められている作品の読解を通じて上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化に対する理解を深める。	
	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	
学 習 評 価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 総合的に評価します。	
担 当 者 か ら	我が国の言語文化に対する理解を深めましょう。 作品の内容や解釈を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めましょう。	

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	探究国語	4	選択科目	2年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	古今のさまざまな作品に触れ、その要旨を的確にとらえるとともに作品ごとの特色について理解する。	
	さまざまな作品を読み比べ、内容や表現などについての批評を通して自身の知識・思考を深める。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、総合的に評価します。	
担当者から	古典から近現代の作品まで、さまざまな文章を読み、論理的に考える力を身につけます。また、自身の意見を書いたり、共有したり、発表することで視野を広げ、ものの見方、考え方を豊かにします。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	読解、批評	現代文基礎編	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	テーマに対して自分の意見を持ち、書いたり、発表したりすることなどを通して的確に表現しようとしている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、自分の捉え方・考え方を深め、的確に表現しようとしている。	確認テスト 課題提出 授業時の取り組み ノートの記載内容 などを基に評価する。
5		古文入門・漢文入門	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	古典を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めようとしている。	
6		現代文標準編①	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	テーマに対して自分の意見を持ち、書いたり、発表したりすることなどを通して的確に表現しようとしている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、自分の捉え方・考え方を深め、的確に表現しようとしている。	
7		古文編①	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
8		現代文標準編②	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	テーマに対して自分の意見を持ち、書いたり、発表したりすることなどを通して的確に表現しようとしている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、自分の捉え方・考え方を深め、的確に表現しようとしている。	
9		漢文編①	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	古典漢文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
10		現代文標準編③	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	テーマに対して自分の意見を持ち、書いたり、発表したりすることなどを通して的確に表現しようとしている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、自分の捉え方・考え方を深め、的確に表現しようとしている。	
11		古文編②	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	

12	現代文標準編④	- 作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 - 演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	テーマに対して自分の意見を持ち、書いたり、発表したりすることなどを通して的確に表現しようとしている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、自分の捉え方・考え方を深め、的確に表現しようとしている。
1	漢文編②	- 作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 - 演習問題	○	○					○		古典漢文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。
2	現代文実践編	- 作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 - 演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	テーマに対して自分の意見を持ち、書いたり、発表したりすることなどを通して的確に表現しようとしている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、自分の捉え方・考え方を深め、的確に表現しようとしている。
3	古文編③ 漢文編③	- 作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 - 演習問題	○	○					○		古典を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。

9	近現代小説	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辭法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	登場人物の心情を共感をもって深く理解し、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めめ、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。
10	古典日記・紀行	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	古典の日記文学・紀行文学の成立事情やモチーフの理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。
11	近現代評論2	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法により的確に読み取り、論理的な思考力や判断力を高め、他者の意見・考えも参照しながら、自分の考えを深めている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。
12	古典漢文故事・漢詩	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	古典漢文を読むために必要な語彙力を高め、訓読の方法、漢詩のきまりなどに関する理解をより深めている。	故事や漢詩の成立事情やモチーフ・思想の理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。
1	近現代小説2	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辭法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	登場人物の心情を共感をもって深く理解し、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深め、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。
2	古典和歌	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、他者の意見・考えも参照しつつ個々の和歌の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深め、表現方法に生かそうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。
3	近現代短歌・俳句	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○						○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辭法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、他者の意見・考えも参照しつつ個々の和歌や俳句の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文章表現	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	様々な文章に多く触れ、それぞれの作品における表現の特色を分析しながら読み解く。	
	それぞれの作品における表現技法の特長をふまえながら、様々な表現の仕方を身につける。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、総合的に評価します。	
担当者から	何かを表現したい時、「書く」という表現の方法を取ったとしても、表現の仕方はいくつもあります。様々な表現の仕方を知ることで、いざ自分が表現したい時にその表現したいものを的確に、かつより他者に伝わるような表現ができるようになるでしょう。様々な文章の表現に触れ、表現力を培いましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	文章表現の基盤となる語彙や正しい表現の仕方を身につけよう	語彙を豊かにしよう 正しい表現に触れよう	・漢字、ことば、ことわざ、慣用句、故事成語を習得する。 ・助詞、助動詞、副詞などを確認する。 ・話し言葉や書き言葉の違いを確認する。	○	○			○				話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、経緯と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	書くことにおいて、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、言葉について理解し、自分の考えが的確に伝わるよう語彙を豊かにしようとしている。	単元テスト、小テスト、課題提出状況、授業時の取り組みなどを基に評価する。
5・6	複数の文章を読み、表現の仕方や特色を分析しよう	評論の文章中で扱われている、表現の仕方や特長を分析しよう	・評論の読解を行う。 ・評論文中の表現や特長の分析する。			○			○		○	文章の種類に基づく効果的な組み立て方や段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	読むことにおいて、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	文章の種類に基づき、効果的な組み立て方や、文章構成、展開の仕方について理解しようとしている。	
7・8	分析したことや蓄えた知識を活用しながら文章を書こう	テーマに沿った意見文を書こう	・意見文の書き方を確認する。 ・実際に意見文を書く。 ・書いた意見文を交流し、より良いものを書くために、批評し合う。 ・他者からのコメントを参考にして、より伝わる表現に仕上げる。				○	○	○		○	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章ので使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。	書くことにおいて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にすることで、主張を支える適切な根拠を揃えている。	自分の考えが的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。	
9・10	複数の文章を読み、表現の仕方や特色を分析しよう	小説の文章中で扱われている、表現の仕方や特長を分析しよう	・小説の読解を行う。 ・小説での文章中の表現や特長を分析する。		○				○		○	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	読むことにおいて、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	文学的な文章やそれに関する文章の種類などについて理解を深め、文学的な文章を書くための情報収集をして、表現したいことを明確にしようとしている。	
11	分析したことや蓄えた知識を活用しながら文章を書こう	物語を創作しよう	・物語の書き方を確認する。 ・実際に物語を書く。 ・書いた物語を交流し、より良いものを書くために、批評し合う。 ・他者からのコメントを参考にして、より伝わるよう表現を書き直し、仕上げる。				○	○	○		○	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章ので使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。	読むことにおいて、作品の文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	自分の考えが的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。	
12	複数の文章を読み、表現の仕方や特色を分析しよう	詩や随筆の中で扱われている、表現の仕方や特長を分析しよう	・詩や随筆の読解を行う。 ・詩や随筆の表現や特長を分析する。		○				○		○	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	書くことにおいて、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど表現の仕方を工夫している。	文章の種類に基づき、効果的な組み立て方や、文章構成、展開の仕方について理解しようとしている。	
1	分析したことや蓄えた知識を活用しながら文章を書こう	自分の想いをのせた詩や随筆を書こう	・詩や随筆の基本知識を確認する。 ・実際に詩や随筆を書く。 ・書いた詩や随筆を交流し、より良いものを書くために、批評し合う。 ・他者からのコメントを参考にして、より伝わるよう表現を書き直し、仕上げる。				○	○	○		○	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章ので使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。	書くことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、改善できている。	自分の考えが的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。	

2	複数の文章を読み、表現の仕方や特色を分析しよう	ジャンルを問わず、自ら複数の文章や作品を選択し、その中で扱われている、表現の仕方や特長を分析しよう	・自らが選択した複数の文章や作品の読解を行う。 ・自らが選択した複数の文章や作品の表現や特長を分析する。									文章の種類に基づく効果的な組み立て方や段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方についてよく理解を深めている。	読むことにおいて、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場を明確にするための根拠を揃えようとしている。
3	分析したことや蓄えた知識を活用しながら文章を書こう	自ら選択した複数の文章や作品から一つ選択し、その文章の表現や魅力について語った紹介文を書こう	・自らが選択した複数の文章や作品の読解を行う。 ・自らが選択した複数の文章や作品のジャンルを理解する。 ・実際に紹介文を書く。 ・書いた紹介文を交流し、より良いものを書くために、批評し合う。 ・他者からのコメントを参考にし、より伝わるよう表現を書き直し、仕上げる。									文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	書くことにおいて、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫し、的確に表現している。	自分の考えが的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	論理国語	4	選択科目	3年	
使用教科書	新編 論理国語(大修館)			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるため、様々な形式の文章を論理的・批判的に考察しながら読む。	
	論理的な文を書いたり、批判的に読んだりし、社会生活で他者に相手の意向を伝える力を養うための演習を行っていく。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 総合的に評価する。	
担当者から	卒業後、「他者」と関わる機会が増えていくみなさんに、自分の気持ちを論理的に伝える力を身に着けてほしいと思っています。他者とは、広く社会生活で関わりをもち、世代・立場、文化的背景などを異にする多様な相手のことです。実社会で活躍していくための、文章を読む力や書く力、話す力を身に着けるために、様々な演習を行っていきましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	読むこと1 18時間	評論①	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。	○		○	○					言葉には言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できる。	読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握できる。	自分たちが日常的に用いている言葉について改めて考え、その仕組みや役割を知ろうとしている。	単元テスト レポート グループ学習等の演習
5		評論②	文の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。	○		○	○								
6	書くこと1 19時間	評論③	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、使う。	○	○	○						論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	書くことにおいて、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決められる。	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解しようとしている。	
7	書くこと2 15時間	評論④	推論の仕方について理解を深め、使う。	○		○			○			推論の仕方について理解している。	書くことにおいて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができる。	自分のもつ情報を整理して、その関係をわかりやすく明確に表現しようとしている。	
8	読むこと2 16時間	評論⑤	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して目的や意図に応じた適切な題材を決める。				○		○			文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。	読むことにおいて、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈できる。	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めようとしている。	
9															
10	書くこと3 19時間	評論⑥	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりする。	○		○					○	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。	書くことにおいて、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して効果的な文章の構成や、論理の展開を工夫できる。	文章の構成や展開・表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書こうとしている。	
11	読むこと3 20時間	評論⑦	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図と関係において多面的・多角的な視点から評価する。	○		○					○	新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	読むことにおいて、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。	書き手の意図に対して、相手や目的を考えた適切な構成になっているかなど、文章の表現を検討して書き手がどのように伝えようとしているか、その意図を推測しようとしている。	
12	読むこと4 19時間	評論⑧	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。	○		○	○					主張とその前提や反証など、情報との関係について理解を深めている。	読むことにおいて、人間、社会、自然などについて、文章の内容や、解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。	与えられた情報を鵜呑みにせず、何が確かで何が不明確なのかを見分け、批判的に検討しようとしている。	

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文学国語	2	必修科目	3年	
使用教科書	新編 文学国語(大修館)			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	2年次に学んだことに加え、文学的な文章についてさらに評価したり、その解釈の多様性についてより深く考察したりする。 自分のものの見方、感じ方、考え方をいっそう深め、自ら課題を設定するとともにさらなる探求ができるようにする。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや定期考査、課題の提出状況などを総合的に評価します。	
担当者から	授業の取り組みや定期考査、課題の提出状況などを総合的に評価します。	

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	実用現代文	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	文章を的確に理解し、適切に表現する。	
	プレゼンテーションや資料作成、AI活用など実社会に出たときに必要になるであろう能力を身につける。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、総合的に評価します。	
担当者から	多くの評論を読み、論理的かつ批判的に考える力を向上させていきましょう。 作品を読んで感じたこと、考えたことを互いに伝え合い、自分の思いや考えを深めていきましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	評論文を中心とした 現代文読解	評論	・演習問題 ・評論文の読み方について	○	○	○					実社会において 理解したり表現し たりするために必 要な語句の量を増 すとともに、語感を 磨こうとしている。	目的や意図に応じ て、実社会の問題 や自分に関わる事 柄の中から適切な 題材を決め、情報 の組合せなどを工 夫して、伝えたい ことを明確にしよう としている。	言葉のもつ価値へ の認識を深めると ともに、言語感覚 を磨き、国語を尊 重してその能力の 向上を図ろうとし ている。	確認テスト 小テスト レポート・プリント課題等の 記載内容 等を基に評価する。	
5			・演習問題 ・文章の内容を読み取ったう えで、自分の考えを書く	○	○		○								
6		文学	・演習問題 ・小説の読み方について	○	○	○					実社会において 理解したり表現し たりするために必 要な語句の量を増 すとともに、語感を 磨こうとしている。	自分の思いや考 えが伝わるよう、具 体例を効果的に 配置するなど、話 の構成や展開を 工夫使用としてい る。	言葉のもつ価値へ の認識を深めると ともに、言語感覚 を磨き、国語を尊 重してその能力の 向上を図ろうとし ている。		
7			・演習問題 ・文章を読み取ったうえで自分 の考えを発表する	○	○		○								
8		複数資料	・演習問題 ・複数資料の読み取りについ て	○	○	○					実社会において 理解したり表現し たりするために必 要な語句の量を増 すとともに、語感を 磨こうとしている。	多面的・多角的な 視点から自分の考 えを見直したり、根 拠や論拠の吟味 を重ねたりして、主 張を明確にしよう としている。	言葉のもつ価値へ の認識を深めると ともに、言語感覚 を磨き、国語を尊 重してその能力の 向上を図ろうとし ている。		
9			・演習問題 ・資料を用いた意見文を作成 する	○	○		○								
10		創作活動	・推敲について	○		○		○			実社会において 理解したり表現し たりするために必 要な語句の量を増 すとともに、語感を 磨こうとしている。	目的や意図に応じ て書かれているか などを確かめて、 文章全体を整え たり、読み手からの 助言などを踏まえ て、自分の文章の 特長や課題を捉え 直そうとしている。	言葉のもつ価値へ の認識を深めると ともに、言語感覚 を磨き、国語を尊 重してその能力の 向上を図ろうとし ている。		
11			・情報の言語化について	○	○		○								
12		プレゼンテーショ ンしよう。	・情報収集の仕方を理解する ・自分の考えを効果的に表現 するための媒体について								実社会において 理解したり表現し たりするために必 要な語句の量を増 すとともに、語感を 磨こうとしている。	相手の反応に応じ て言葉を選んだ り、場の状況に応 じて資料や機器を 効果的に用いたり するなど、相手の 同意や共感が得ら れるように表現を 工夫使用としてい る。	言葉のもつ価値へ の認識を深めると ともに、言語感覚 を磨き、国語を尊 重してその能力の 向上を図ろうとし ている。		
1					○		○	○	○						○

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	国語一般教養	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	国語の基礎知識を身につける。	
	実社会のどのような場面で役立つかを考えながら、身につけた国語の基礎知識を活用する。	
学習評価		
担当者から	国語の一般常識を知ること、社会で生きていくうえで必ず役に立つ知識です。一般教養として国語力を身につけ、社会に出た際に役立ててほしいと願っています。幅広く「国語」を学んでいきましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	基本編	漢字の読み・書き	基礎的な国語力の充実を図る。	○		○		○				基礎的な国語力の充実が図ろうとしている。	これまでに学んだ内容を整理し、自分の考えを相手に伝える力を身につけようとしている。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、意欲的に一般教養を深めようとしている。	授業態度 発問に対する応答 課題の取り組みと提出 単元テスト などを基に評価を行う。
5		同音異義語・慣用表現	取り扱った同音異義語や慣用表現を活用し、的確に自分の考えを相手に伝える力を身に	○		○		○							
6		ことわざ	取り扱ったことわざを活用し、的確に自分の考えを相手に伝える力を身につける。	○		○			○						
6		近現代文学史	近現代文学史に触れ、国語の一般教養を深める。	○		○	○								
7	表現編	原稿用紙の使い方	原稿用紙の使い方を学び、原稿用紙を適切に使って文章を書く。		○	○	○				原稿用紙の使い方や作文の書き方を身につけ、整った文章を書く力を身につけようとしている。	自身の感覚に偏ることなく、相手意識をもって、表現しようとしている。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、意欲的に一般教養を深めようとしている。		
8		作文の書き方	取り扱うテーマやお題に沿った文章を、適切な表現を用いて書く。		○	○	○								
9		文章の整え方	これまで書いてきた自分の文章を見直し、文章を整え、より良い文章を書く。		○	○	○								
10	発展編	漢字の読み・書き	基礎的な国語力の更なる充実を図る。	○		○		○			基礎的な国語力の更なる充実を図ろうとしている。	これまでに学んだ内容や知識を確かなものにし、実践的な応用力を身につけようとしている。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、意欲的に一般教養を深めようとしている。		
11		同字異音・同字異訓	取り扱った同音異義語や慣用表現を活用し、的確に自分の考えを相手に伝える力を身に	○		○		○							
11		難読語	難読語に触れ、日本の言語文化に親しむ。	○		○		○							
11		新聞記事・時事用語	新聞記事や時事的な内容を取り扱い、様々な視点から持続可能な社会について考えを	○		○		○							
11		古典文学史	古典文学史に触れ、国語の一般教養を深める。	○		○		○							
12	表現編	敬語の使い方	適切な表現を用いて、自分の意志を表す。	○		○	○				手紙やはがき、詩など様々な表現の仕方に触れ、自身の教養を高めようとしている。	他者の発表にも耳を傾け、物事をさまざまな角度から捉えようとしている。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、意欲的に一般教養を深めようとしている。		
1		手紙・はがき	他者の作品や発表を読み味わい、より良いものになるよう批評し合う。			○	○	○							
1		詩	他者の作品や発表を読み味わい、より良いものになるよう批評し合う。				○	○		○					
1		ブックトーク	他者の作品や発表を読み味わい、より良いものになるよう批評し合う。				○	○	○						

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	応用古典	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	古典の文章を自在に読み取り、表現活動にも活かせるようする。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
		以上の観点をふまえ、総合的に評価します。
担当者から	これまでの科目で学んだ知識・読解力をベースに、より難度の高い古典の文章を中心に学びます。同時に、私たちの表現活動にも実際に活かせるような「古典」の力を身に付けましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	古文	説話	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○	用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。	文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、その語彙や表現の技法を参考にして、和歌や俳句を創作したり、体験したことや感じたことを文語で書いたりしている。	作品について自分の見解をもち、他者との意見交換を通して、進んで自分のものの見方、考え方、感じ方を深めようとしている。	確認テスト 小テスト 授業時の取り組み ノート、課題の記載内容などを基に評価する。
4			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○				
5		物語	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○				
5			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○				
6	漢文	故事成語	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解するとともに、作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	古典の作品に関連のある事柄について調べその成果を発表したり、社会生活に役立つ知識の文例を集め、それらの現代における意義や価値などについてまとめている。	積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自分の学習を調整しようとしている。	
6			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○				
7		史書	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○				
8			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○				
9	古文	日記、随筆	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○	古典を読むことを通して、我が国の文化の特質について理解するとともに、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しもうとしている。	作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえつつ、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容の解釈を深めている。	古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	
9			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○				
10		和歌	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○				
10			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○					○				
11	漢文	詩	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○	古典の作品や古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めるとともに、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しもうとしている。	古典を読み、その語彙や表現の技法などを参考にして、漢詩を創作したり、その内容の解釈を踏まえて朗読したりしている。	積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自分の学習を調整しようとしている。	
11			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○				
12		思想	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○				
1			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○					○				

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文学研究	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	古今のさまざまな文学作品を精読し、鑑賞・味読する。	
	文学作品の魅力について考えを述べ合い、創作を実践する。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、総合的に評価します。	
担当者から	古典から近現代の作品までさまざまな文学作品を鑑賞・味読するとともに、作品と作者・時代状況とのかかわりやそもそも文学とは何かについて考究し、考えを述べ合います。また、創作にも挑戦し、表現力を身につける活動にも取り組みます。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	古典文学	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	文学的な文章を読むことを通して、我が国の拳固文化の特質について理解を深め、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えようとしている。	単元テスト、課題提出、授業の取り組み、ノートの記載内容などを基に評価する。
5		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
6	近代文学	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				文学的な文章や、それに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	読むことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方をお踏まえ、解釈の多様性について考察している。	文学的な文章や、それに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、文章の解釈の多様性について考察しようとしている。	
7		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
8	現代文学1	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	読むことにおいて、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、作品の解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する者の見方、考え方を深めようとしている。	
9		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
10	現代文学2	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し、使っている。	書くことにおいて、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現方法を使い、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫しようとしている。	
11		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
12	創作	散文	文学表現の特殊性を主体的に把握し、自己表現の方法として活用する。演習問題にも取り組む。				○	○			○	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	書くことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりしている。	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使いながら語彙を豊かにし、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように、文章の構成や表現の仕方などを吟味しながら、文章を整え、読み手の助言を受け、自分の文章を捉えなおそうとしている。	
1		韻文	文学表現の特殊性を主体的に把握し、自己表現の方法として活用する。演習問題にも取り組む。				○	○			○				